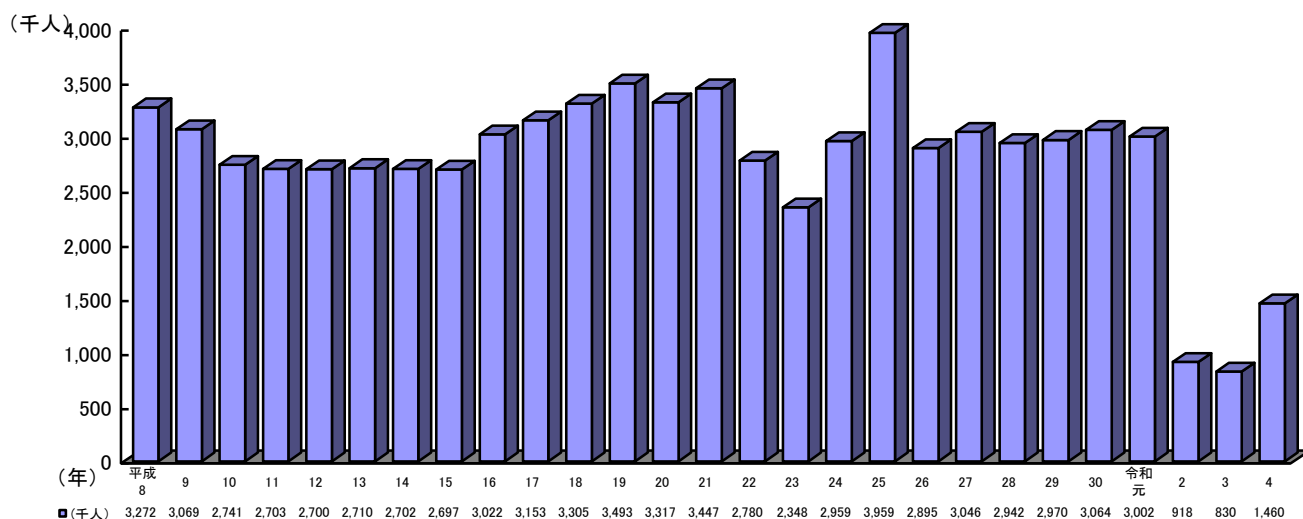


# 令和4年会津若松市観光客入込みの概況について

【会津若松市観光客入込の推移】



令和4年も、前年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、外出・移動やイベント開催など、さまざまな社会・経済活動が制限されましたが、本市独自の取り組みや、県民割・全国旅行割の実施によって、本市を訪れた観光客の総数は、1,460千人と前年から630千人の増加（対前年比175.9%）となりました。

東山・芦ノ牧温泉の入込数総計は、対前年比138.4%となりました。市街地の旅館・ホテルについても、ビジネス客を中心に比較的安定した利用があり、対前年比121.1%となりました。市内観光施設は、鶴ヶ城天守閣の入場者が対前年比122.3%（令和元年比57.8%）、他の主要観光施設は平均で対前年比148.2%（令和元年比75.6%）の入込でした。また、外国人観光客については、入国制限が緩和された10月頃から東アジア等からの旅行客を中心に回復し、対前年比で378%となりましたが、コロナ前の令和元年と比較すると13.5%に留まっています。

教育旅行は、新潟県の来訪校数が回復するとともに、千葉県などの関東圏から新規来訪校が増加し、全体で1,231校（対前年比99.2%）となり、県外からの来訪校については、908校（対前年比102.3%）と震災以降最多となりました。

令和5年は、天守閣のリニューアルオープンを契機とし、鶴ヶ城への誘客を促進するとともに、来訪者をまちなかへの誘客を図るなどにより、観光客入込の回復を図ってまいります。